

一月一日

年の始めの 例（ためし）とて
終（おわり）なき世の めでたさを
松竹（まつたけ）たてて 門（かど）ごとに
祝（いお）う今日（きょう）こそ 楽しけれ

初日のひかり さしいでて
四方（よも）に輝（かがや）く 今朝（けさ）のそら
君がみかげに 比（たぐ）えつつ
仰（あお）ぎ見るこそ 尊（とう）とけれ